平成20年度

水道事業会計決算報告

平成20年度の水道事業は、前年度に続き、第4次行政改革に沿った事業に取り組んできました。また、国の行革方針に従い、平成18年3月に策定した、定員管理の適正化などを定める「田川市水道事業中期経営計画」に基づいて、事業に取り組んでいます。

水道事業の収支状況は

昨年に続き黒字決算

平成20年度の収支決算は、日照時間の減・降雨量の増などにより昨年度に対し給水収益は減少しましたが、企業努力による経費縮減などによって、消費税を差し引いた純利益は3千303万円の黒字決算となりました。

また、水道管の更新改良事業や、昨年度から行っている企業債の繰上償還などの費用に4億8千707万円かかりました。この2カ年で行われた繰上償還によって今後の支払利息額は1億2千516万円軽減されました。

これらの費用の財源には、企業債や口径別加入金などの収入を充てて、不足分は内部留保資金で補てんしました。

このように、平成20年度も黒字決算となりましたが、今後は老朽化施設の改修などに膨大な費用が必要になると予想されます。その為、事業の経営状況を見極め、効率的な更新改良計画の策定や、有収率（年間総配水量に対して収入を得られた水量の割合）の向上のための漏水対策、また、さらなる口座振替の推進や事務の効率化など、中期経営計画に沿った経営努力を行っていきます。

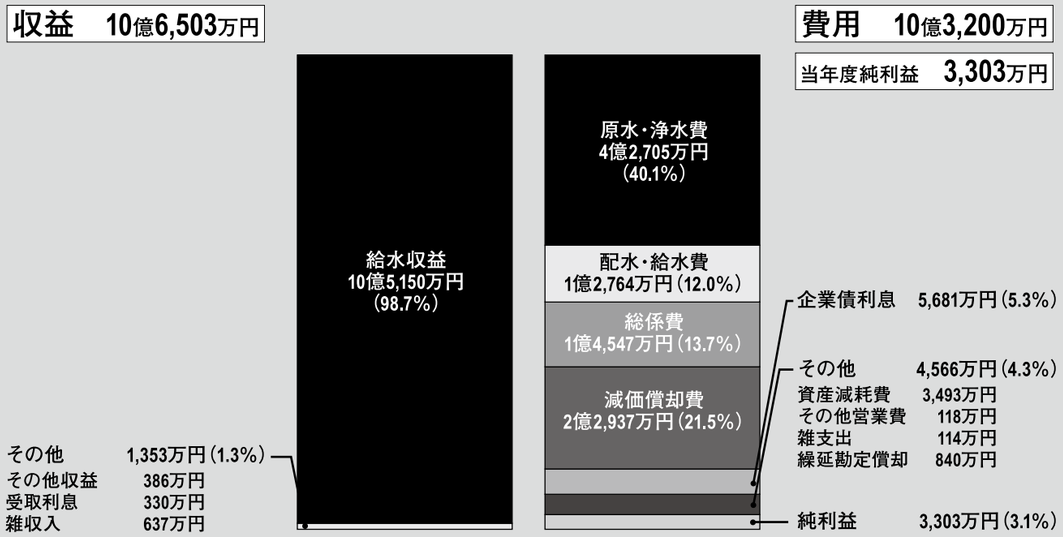
また、事業の現状と将来の見通しを分析・評価するために日本水道協会がまとめた、「水道事業ガイドライン」の137項目の業務指標を策定し、さらなる効率的な経営と安全かつ安定した水の供給を目指します。

田川市水道事業の将来像

伊良原ダムの完成が平成29年度に予定されています。それに伴い、田川地域広域的水道整備計画の早期実現のため、田川地区水道企業団を中心とする1市3町の構成団体で水道事業経営の基盤強化を図り、安心、安全、安定、低廉な水の供給ができる水道事業の実現に向けて努力していきます。

収益と費用

平成20年4月1日～平成21年3月31日



水道をお金に換算

平成21年3月31日現在

資産　106億6,874万円

固定資産
102億5,364万円

流動資産
4億　31万円

繰延勘定
1,479万円

資本　103億3,683万円

自己資本金
17億8,230万円

借入資本金
18億　968万円

資本剰余金
56億3,014万円

利益剰余金
11億1,471万円

負債　3億3,191万円

固定負債
2億1,228万円

流動負債
1億1,963万円

給水人口・配水量

平成20年度

給水人口	51,481人
年間総配水量	6,673,489㎥
1日平均配水量	18,284㎥
1世帯1日平均配水量	762リットル
1人1日平均配水量	355リットル
1日最大配水量	23,435㎥
1人1日最大配水量	455リットル

1. 口座振替ができる金融機関

支払いには、毎月の手間がかからず、支払い忘れも防げる口座振替が便利です。手続きは市内の各金融機関窓口または水道課窓口でできます。通帳と通帳印を持参してください。

【口座振替ができる金融機関】

○福岡銀行　○西日本シティ銀行
○福岡中央銀行　○九州労働金庫
○田川信用金庫　○郵便局
○田川農協

2. 水の安定供給のために

水道事業は市民のみなさんが支払った水道料金で、施設の整備などの費用をまかなっています。円滑な経営のために、必ず納付期限内に水道料金を支払ってください。

3. 引っ越しするときは届け出を

引っ越しするときは、水道の使用開始や中止の届け出が必要です。引っ越しの日程が決まり次第、水道課へ届け出てください。

また、アパートなどの家主や不動産業者の皆さんは、入退去者への周知をお願いします。

◆問い合わせ　水道課　（☎44－2000 内線528・529）